

(9) 中国



中国地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

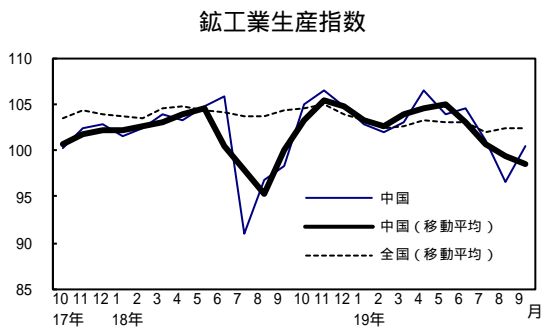
前回からの主要変更点

	前回(令和元年8月)	今回(令和元年11月)	
景況判断	緩やかな回復基調	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	
鉱工業生産	持ち直しの動き	弱含み	
雇用情勢	着実に改善	改善	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでいる。

7 - 9月期には、輸送機械は、輸出減少のため普通乗用車等が減少した。汎用・生産用・業務用機械は、ボイラ部品・付属品等が減少した。化学は、一部事業所の定期修理明けのため塩化ビニルモノマー等が増加した。電子部品・デバイス、海外市場の影響でアクティブ型液晶素子(大型)等が減少した。食料品・たばこは、減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
輸送機械	23.2	6.7	7.8	2.4	1.0	1.7
汎用・生産用・業務用機械	13.3	10.2	18.5	21.0	19.2	22.9
化学	12.2	4.5	4.5	13.4	0.0	3.9
電子部品・デバイス	8.8	0.5	1.5	1.6	3.7	0.1
食料品・たばこ	6.8	1.0	4.7	8.5	2.1	3.0
鉱工業	100.0	2.1	5.3	3.3	4.5	4.0

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。中国の最新月は速報値。
2. 全国及び中国の大線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 7 - 9月期、9月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直しの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

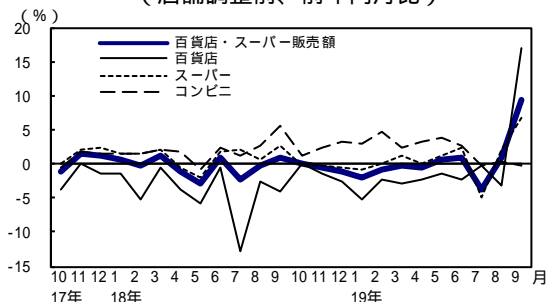
7月は前月比2.1%減、8月は同0.7%減、9月は同3.8%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、7月は、梅雨明けが遅く、気温が低かったため、夏物衣料の販売が伸び悩み、前年を下回った。8月は、天候不順などの影響により飲食料品や衣料品の販売が低調で、前年を下回った。9月は、高額品や化粧品の販売が好調で、前年を上回った。

スーパーは、7 - 9月期は、酒類や消耗品等が好調で前年を上回った。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



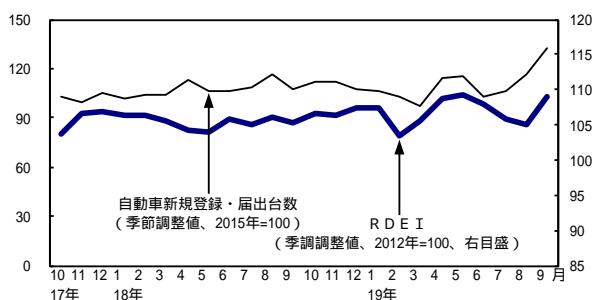
	2019年7-9月	2019年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	1.9	2.1	0.7	3.8
百貨店・スーパ-(*2)	2.0	3.6	0.9	9.4
百貨店(*2)	4.3	0.2	3.2	16.9
スーパー(*2)	1.3	4.8	2.2	6.8
コンビニ(*2)	0.1	0.2	0.3	0.3
乗用車(*3)	8.5	0.9	0.9	24.8
(季節調整値)(*3)	6.8	3.4	8.9	13.8

(備考) 1. 季節調整前(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比(%))

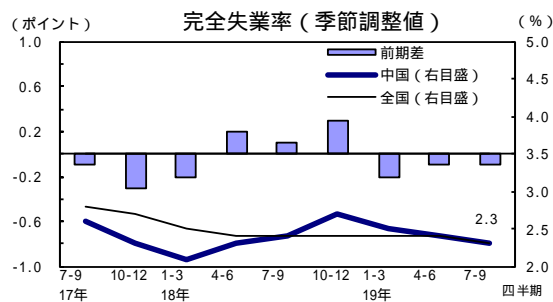
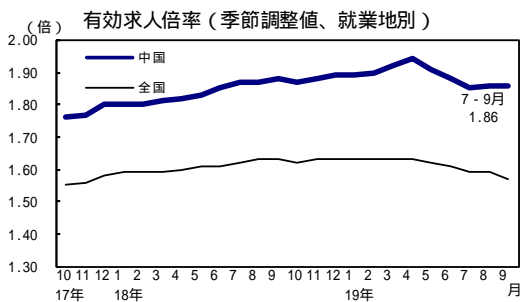
RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 内閣府にて季節調整をおこなったが、季節性が認められなかったことから、原数値と同じ。